

(19) 日本国特許庁 (JP)

(12) 登録実用新案公報 (U)

(11) 実用新案登録番号

実用新案登録第3167852号
(U3167852)

(45) 発行日 平成23年5月19日 (2011.5.19)

(24) 登録日 平成23年4月20日 (2011.4.20)

(51) Int.Cl.

A 4 7 G 19/14 (2006.01)

F 1

A 4 7 G 19/14

K

評価書の請求 未請求 請求項の数 4 O L (全 5 頁)

(21) 出願番号 実願2011-1094 (U2011-1094)

(22) 出願日 平成23年3月2日 (2011.3.2)

(73) 実用新案権者 300036822

芳賀 邦明

静岡県藤枝市岡部町内谷930番地3号

(72) 考案者 芳賀邦明

静岡県藤枝市岡部町内谷930番地3号

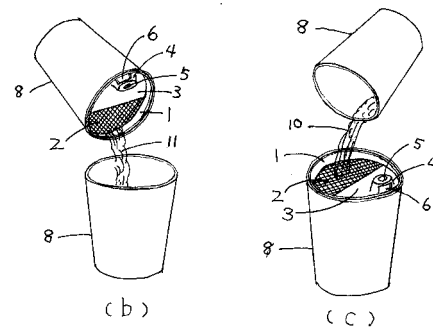
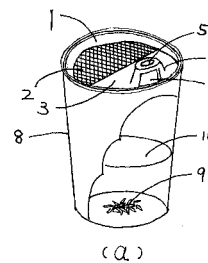
(54) 【考案の名称】 簡易急須用抽出フィルター器

(57) 【要約】 (修正有)

【課題】構造が簡単でかつ低コストで製造できると共に、コンパクトで場所を取らず簡易に急須を構成し、どんな場所でも本格的にお茶を飲むことができる簡易急須用抽出フィルター器を提供する。

【解決手段】容器8の中に茶葉等9を入れ、湯等の液体10を注ぎ入れ、容器8の縁部に凹状の外枠部1を係止し簡易急須を構成し、備えの容器8に抽出液11を注ぎ入れ飲むことができる簡易急須用抽出フィルター器又は、容器8の中に茶葉等9を入れ、容器8の縁部に凹状の外枠部1を係止し簡易急須を構成する。また、フィルター部2から直接湯等の液体10を注ぎ入れ、備えの容器8に抽出液11を注ぎ入れ飲むことができる簡易急須用抽出フィルター器又は、凸状部4を摘まんで凹状の外枠部1を容器8から取り外すことが出来る。

【選択図】 図3



【実用新案登録請求の範囲】

【請求項 1】

茶葉等（９）を入れ湯等の液体（１０）を受け入れる容器（８）と縁部に係止しうる凹状の外枠部（１）は、凹状の外枠部（１）の底面はフィルター部（２）と非フィルター部（３）からなり、前記茶葉等（９）の流出を阻止すると共に、抽出液（１１）の流出を許容し、前記非フィルター部（３）の底より上方に向って形成された凸状部（４）と、この凸状部（４）の上面部には第一の開口部（５）を設けて構成されていることを特徴とする簡易急須用抽出フィルター器。

【請求項 2】

前記凸状部（４）の側面部には、第二の開口部（６）を設けてあることを特徴とする請求項 1 記載の簡易急須用抽出フィルター器。

10

【請求項 3】

前記凸状部（４）の外形は、指で摘まむことができる大きさであることを特徴とする請求項 1 又は請求項 2 記載の簡易急須用抽出フィルター器。

【請求項 4】

前記凹状の外枠部（１）の外側面に、注ぐ際の脱着を防ぐ突起部（７）を設けたことを特徴とする請求項 1 又は請求項 2 又は請求項 3 記載の簡易急須用抽出フィルター器。

【考案の詳細な説明】

【技術分野】

【0001】

20

本考案は、簡易に急須が形成できる簡易急須用抽出フィルター器に関するものである。

【背景技術】

【0002】

従来の急須では、飲み終わった後の茶殻の処理などの煩わしさがあり またコンパクトで飲み終わった後の茶殻の処理を解消する使い捨て急須があった。

【0003】

しかしながら、従来の使い捨て急須は、容器が固定され取り外しができず茶葉等の選択が自由にできない点や、取り外しが出るものでも抽出の際に脱着するなど安全面の点に不利があった。

【先行技術文献】

30

【特許文献】

【0004】

【特許文献 1】特開 2000-237021 号

【考案の概要】

【考案が解決しようとする課題】

【0005】

解消しようとする問題点は、取り外しができない固定型では茶葉などが自由に選択できない点や、取り外しができても使用中に脱着するなど安全面の点に不利がある。

【課題を解決するための手段】

【0006】

40

本考案は、容器の縁部に係止し急須を構成する簡易急須用抽出フィルター器であり、凸状部を摘まんで凹状の外枠部を取り外すことができ、茶葉等の選択が自由にできると共に、凹状の外枠部のフィルター部はお茶の注ぎ口である。茶葉等を容器の底に入れ湯等の液体を注ぎ、凹状の外枠部を取り付ける。凹状の外枠部の側面部には、注ぐ際に容器との脱着を防ぐ為に突起部を設けてある。抽出するお茶は、注ぎ用のフィルター部より急須のように使用する。また、凸状部の上面部の第一の開口部と側面部の第二の開口部はエア抜きであり凹状の外枠部を取り外すことなく直接フィルター部より湯等の液体を注ぎ入れることができるように構成している。

【考案の効果】

【0007】

50

本考案の簡易急須用抽出フィルター器は、簡易に急須を構成し従来の急須のように使用できると共に、取り外しができることで茶葉等の選択が自由にでき、使用後は使い捨てることができることで、屋内室内において多目的な効果が得られる。

【図面の簡単な説明】

【0008】

【図1】図1は、本考案の簡易急須用抽出フィルター器の全体図を示した説明図である。

(実施例1)

【図2】図2は、本考案の簡易急須用抽出フィルター器を容器に取り付けた状態を示した説明図であり又、本考案の簡易急須用抽出フィルター器のフィルター部が複数の穴開きであり又、凸状部がハート型に形成された他の形状例を示した説明図である。(実施例2)

【図3】図3は、本考案の簡易急須用抽出フィルター器の実施方法を示した説明図である。(実施例3)

【考案を実施するための形態】

【0009】

簡易急須用抽出フィルター器は、容器の縁部に係止し簡易に急須を構成し従来の急須のように使用できると共に、容器は紙コップやプラスチックコップやガラスコップ等であったり又、フィルター部はメッシュや複数の穴開きなどがあり又、凸状部の形状は丸型やハート型などがあり、凸状部を摘まんで取り外すことで茶葉の選択が自由に行なうことができ又、使用中の脱着を防ぐための突起部を凹状の外枠部の外側面に設けた事で実現した。

【実施例1】

【0010】

図1は、本考案の簡易急須用抽出フィルター器の実施例の図であって、図1(a)は斜視図であり図1(b)は平面図であり図1(c)は図1(b)の平面図A-Aの断面図である。また、1は凹状の外枠部、2はフィルター部、3は非フィルター部、4は凸状部、5は第一の開口部、6は第二の開口部、7は凹状の外枠部外側面の突起部を示したものである。

【0011】

凸状部4の上面部の第一の開口部5と凸状部の側面部の第二の開口部6は、エアー抜き役目を果たし、凹状の外枠部1を構成された急須の容器8から取り外さなくても注ぎ用のフィルター部2から直接湯等の液体10を注ぎ入れることができるように設けてあると共に、凹状の外枠部1の外側面の突起部6は、凹状の外枠部1を容器8に係止し急須を構成し、急須のように用いて備えの容器8に注ぎ入れる際に、凹状の外枠部1の外側面の突起部7によって容器8から脱着することを防ぐ役目を持たせてあり又、容器8の中に茶葉等9を入れ湯等の液体10を注ぎ入れ、容器8の縁部に凹状の外枠部1に係止し簡易急須を構成し、備えの容器8に注がず構成された簡易急須のフィルター部2から直接抽出液11を飲むことができ、安全面と利便性から大いに役立つ。

【実施例2】

【0012】

図2の実施例は、図2(a)は図1(a)を容器8の縁部に係止し急須を構成した状態を示す斜視図であり、図2(b)は図1(a)のフィルター部2が複数の穴開きであり又、凸状部4がハート型に形成された他の形状例を示した斜視図である。

【実施例3】

【0013】

図3の実施例は、図3(a)は容器8の中に茶葉等9を入れ湯等の液体10を注ぎ入れ凹状の外枠部1を容器8の縁部に係止し急須を構成した状態を示した斜視図であり、図3(b)は、図3(a)の急須を構成した状態から急須のように使用し備えの容器8に抽出液11を注ぎ込んでいることを示した斜視図であり、図3(c)は、非フィルター部3の底より上方に向かって形成された凸状部4の上面部の第一の開口部5と凸状部4の側面部の第二の開口部6はエアー抜き役目を果たし、注ぎ用のフィルター部2から湯等の液体10

10

20

30

40

50

を直接注ぎ込込むことができることを示した斜視図である。

【産業上の利用可能性】

【0014】

本考案は、容器の縁部に係止し急須を構成する簡易急須用抽出フィルター器であり、従来の急須のように使用でき、凸状部を摘んで凹状の外枠部を容器から取り外すことが出来ることで茶葉等の選択が自由にでき、使用後は使い捨てることも出来る。また、注ぐ際に凹状の外枠部の脱着を防ぐために凹状の外枠部の外側面に突起部を設けてある。また、凸状部の上面部の第一の開口部と側面部の第二の開口部はエア抜きであり、凹状の外枠部を容器から外すことなくフィルター部から湯等の液体を直接注ぎ入れることができる。コンパクトで簡易であり安全面を配慮し、屋内屋外において利便性と応用性の点で多目的に利用が可能である。

10

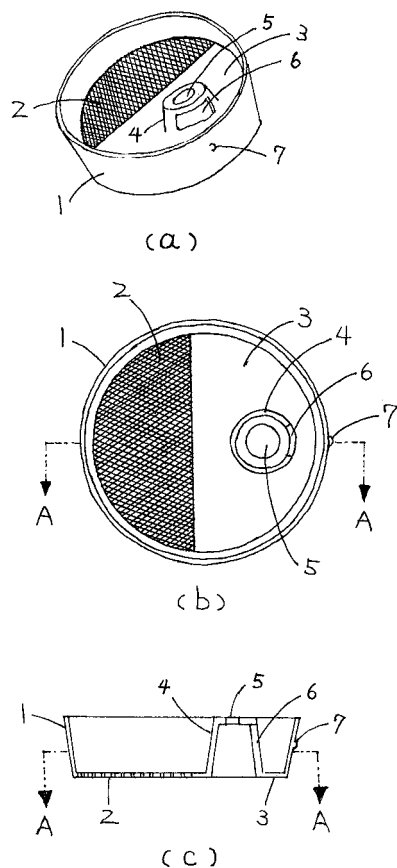
【符号の説明】

【0015】

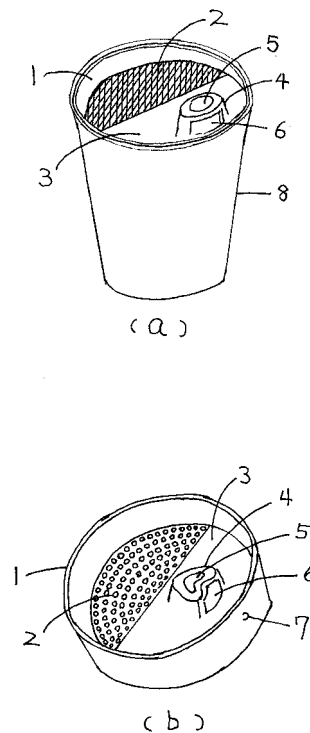
- 1 凹状の外枠部
- 2 フィルター部
- 3 非フィルター部
- 4 凸状部
- 5 第一の開口部
- 6 第二の開口部
- 7 突起部
- 8 容器
- 9 茶葉等
- 10 湯等の液体
- 11 抽出液

20

【図1】



【図2】



【図 3】

